

ボスニア・ヘルツェゴビナ(BH)情勢月報(2020年6月分)

2020年7月

在ボスニア・ヘルツェゴビナ日本国大使館

目次(以下は主なトピックを抜粋)

1. 国内情勢

(1) 国家レベル

●[ラドンチッチ治安相の辞任およびSBBの国政連立政権から離脱\(2日\)](#)

(2) エンティティ、特別区

ア. ボスニア・ヘルツェゴビナ連邦(BH連邦)

●[SDAとHDZ、モスタル市選挙問題の解決に向け覚書を締結\(17日\)](#)

イ. スルプスカ共和国(RS)

2. 外政

(1) 多国間、国際・地域機構(EU加盟プロセスを含む)

●[PIC・SB政務局長会合の開催\(2～3日\)](#)

(2) 二国間関係

3. 経済

(1) 経済政策・公共事業

●[19年のBH貿易収支、前年比で赤字が拡大\(18日\)](#)

(2) 経済協力(新型コロナウイルス対策支援を含む)

●[閣僚評議会、IMFからの貸付資金の利用につき最終合意\(2日\)](#)

(3) 民間セクター

●[BHへの国外からの送金、年々増加の傾向\(12日\)](#)

(注: 本月報は、当地紙報道などの公開情報をとりまとめたものです。)

1. 国内情勢

(1) 国家レベル

● 新型コロナウイルス、BH国内で感染が再拡大の傾向(1～30日)

6月、BH国内では新型コロナウイルス感染が再拡大の傾向。これを受けBH国内の各機関は、屋内公共空間でのマスク着用、社会的距離の保持など、感染防止対策の徹底を国民に呼びかけるとともに、飲食店の営業時間制限など、一部の感染拡大防止措置を再導入する動きもある。

● ラドンチッチ治安相の辞任およびSBBの国政連立政権から離脱(2日)

ラドンチッチBH治安相が、大臣からの辞任および自身が党首を務める「よりよき未来のための同盟」(SBB)の国政連立政権からの離脱を発表。ラドンチッチ党首は同決定に至った理由として、BHに滞留する不法移民対策をめぐるSDA(ボシュニャク系与党第一党)との対立およびBH連邦政府(SDA主導)による中国製人工呼吸器の不正調達疑惑などに言及。その一方で、ラドンチッチ党首は、SDAなどと組んでいるサラエボ・カントンにおける連立合意は維持する方針を示した。

● BH議会、コシャラツ対外貿易・経済関係相に対する不信任案を否決(10日)

BH議会下院は、社会民主党(SDP)、セルビア民主党(SDS)、我々の党(NS)などの野党が提出したコシャラツBH対外貿易・経済関係相に対する不信任決議案を、同大臣が所属するSNSD(セルビア系与党第一党)などの反対により否決。コシャラツ大臣をめぐるのは、5月に新型コロナウイルス感染拡大防止措置により禁じられていた集会(営業禁止中

のレストランでのパーティー)に参加していたことが発覚、野党各党は同大臣に対し辞任要求を強めていた。

● 連立与党、新治安大臣の任命めぐる交渉難航(12日)

ラドンチッチ治安相の大臣辞任およびSBBの連立離脱を受け、与党SDAは後任の人事としてツイコティッチ元国防相(SDA所属)を推薦。一方で、同じく連立与党のSNSDおよびHDZ(クロアチア系与党)はこの提案に難色を示しており、後任人事をめぐる連立与党間の交渉は難航している。

● 大統領評議会、本年国家予算案を承認(26、30日)

BH大統領評議会が2020年のBH国家修正予算案を承認し、BH議会下院に送付。今後、同下院による承認を経たのち同予算は成立する見通し。一方で、BH閣僚評議会は30日、本年国家予算が依然として未成立であることを受け、本年第3四半期(7～9月)の国家暫定予算を承認した。

(2) エンティティ、特別区

ア. ポスニア・ヘルツェゴビナ連邦(BH連邦)

● SDAとHDZ、モスタル市選挙問題の解決に向け覚書を締結(17日)

SDAとHDZが、BH連邦モスタル市で長期化する選挙未実施問題の解決に向け、クイント(米、英、独、仏、伊)およびEUの仲介により、BH選挙法の改正に関する覚書を締結。BH憲法裁判所が2010年にモスタル市議会に関する選挙法規定を違憲と判断したことを背景に、同市では2008年を最後に選挙が行われていない。BH国内では、今回の覚書に基づく

選挙法改正の早期完了とともに、本年11月に予定されている統一地方選挙にあわせたモスタル市での12年ぶりの選挙実施に対する期待感が高まっている。

イ. スルプスカ共和国(RS)

●セルビア系各党、バニャ・ルカ市長選挙に向け候補者選定を本格化(28日)

スルプスカ共和国(首都:東サラエボ市)の中心都市であるBH北西部バニャ・ルカ市で、本年11月に予定されている同市市長選挙に向けた与野党の候補者選定が本格化。与党SNSDを中心とする10党は、現職のラドイチッチ市長(SNSD)を候補者として選挙協力を結ぶことで合意。これに対し主要野党では、民主進歩党(PDP)からスタニブコビッチRS国民議会議員が立候補する可能性が報じられている(注:7月6日、PDPは正式にスタニブコビッチ議員の擁立を発表。)

2. 外政

(1) 多国間、国際・地域機構(EU加盟プロセスを含む)

●PIC・SB政務局長会合の開催(2~3日)

デイトン和平合意の履行支援を行う和平履行評議会(PIC・SB)が政務局長会合を開催。新型コロナウイルス感染拡大を受け、今回の会合はビデオ会議方式での開催となった。同会合後、日本を含むPIC・SBは、OHRの閉鎖条件として2008年に定められた「5+2」アジェンダの早期達成、および、BHのEU加盟に向けた14項目の課題への取り組み加速化などをBH側に要請する旨の共同声明(除ロシア)を発出した。

●SEECF外相電話会合の開催(25日)

南東欧協力プロセス(SEECF)の外相電話会合(本年の議長国はコソボ)が開催され、BHからはトゥルコビッチ外相が出席。トゥルコビッチ外相は、新型コロナウイルス問題を契機として、各国の保健、教育、経済などの各分野の先進化を推進する必要性を強調。このほか各国の外相は、西バルカン地域に流入する移民・難民問題および各国のEU加盟プロセスの現状などにつき話し合った。

(2) 二国間関係

●プレニコビッチ・クロアチア首相のモスタル訪問(5日)

プレニコビッチ・クロアチア首相がBH連邦のモスタル市を訪問し、チョービッチHDZBH(BH国内クロアチア系与党)党首らと会談。プレニコビッチ首相の訪問は、同首相が党首を務めるクロアチア国内与党HDZの姉妹政党にあたるHDZBHの結党30周年にあわせて行われたもの。会談で両者は、クロアチアとBHクロアチア系の更なる関係深化を目指す方針で一致。またプレニコビッチ首相は、BHのEU加盟実現に向けた継続的な支援を約束した。

●BH・セルビア外相会談(9日)

トゥルコビッチBH外相が昨年12月の外相就任後で初めてセルビアのベオグラードを訪問し、同国のダチッチ外相と会談。両外相は新型コロナウイルス問題への両国の取り組みのほか、事態収束後を見据えた二国間協力の促進につき話し合った。

●ドディック大統領評議会メンバーの訪露(25日)

ロシアで第2次世界大戦の戦勝75周年記念行事が開催されるのにあわせ、ドディックB

H大統領評議会セルビア系メンバーが首都モスクワを訪問。ドディック・メンバーは、同記念行事にセルビア系の代表が参加することには大きな意義があると強調しつつ、今回の訪露はBHの代表としてではなく、セルビア系が多数派を占めるスルプスカ共和国の代表として行ったものだと述べた。

3. 経済

(1) 経済政策・公共事業

●19年のBH貿易収支、前年比で赤字が拡大(18日)

閣僚評議会は、BH対外貿易・経済関係省による2019年貿易統計報告書を承認。同報告書によれば、輸出と輸入を合わせた昨年の総貿易高は約310億KM(約158億5,000万ユーロ)で、輸出額(約115億KM)から輸入額(約195億KM)を引いた貿易収支は約80億KM(約41億ユーロ)の赤字。赤字額は前年(18年)から8.6%の拡大。BHの最大貿易相手国はEU加盟各国で全体の66%、そのほか、中欧自由貿易協定(CEFTA)締結国が14%、日本を含むその他の国が20%であった。

(2) 経済協力

●閣僚評議会、IMFからの貸付資金の利用につき最終合意(2日)

閣僚評議会は、国際通貨基金(IMF)による新型コロナウイルス対策のための緊急貸付資金約3.3億ユーロの利用につき最終合意。同資金をめぐっては、IMFが資金貸付を実施した4月以降も、BH連邦内部における資金の配分方法をめぐるボシュニャク系とクロアチア系の対立により閣僚評議会が必要な決定を下すことが出来ず、この日までBH中央銀行で

凍結されたままとなっていた。

●EU、移民・難民対策でBHに資金援助の実施を決定(4日)

欧州委員会は、西バルカン地域に流入する移民・難民問題対策への支援策の一環としてBH政府に対し2,000万ユーロ規模の資金援助を実施する方針を決定。同資金は今後、移民・難民の滞在施設の整備、食料確保、社会・保健サービスの充実などにあてられる見通し。

●EU、BHの農業分野先進化に向けた資金援助の方針を決定(10日)

EUは、BHの農業分野先進化に向けた支援策として、2020~24年の4年間に計約2,000万ユーロ規模の資金援助を実施する方針を決定。EUによる同支援策は「EU4Agri」の枠組みで実施されるものであり、同資金は今後、計2,600のBH国内農家を対象に、農業技術の先進化および新型コロナウイルス問題による損失に対する支援などに活用される見通し。

●米国、新型コロナウイルス対策でBHに資金援助を実施(12日)

米国国際開発庁(USAID)は当地のUNICEFを通じ、新型コロナウイルス対策支援としてBHに対し100万米ドルの資金援助を実施。新型コロナウイルス問題の発生以降、米国はBHに対し計50万米ドルの資金援助を実施済みであり、今回の支援はその追加支援にあたる。

(3) 民間セクター

●BHへの国外からの送金、年々増加の傾向

(12日)

BH中央銀行によれば、2019年にBH国外からBH国内の口座に個人ベースで送金された金額の合計が約30億KM(約15億3、300万ユーロ)を記録。BH中銀によれば、BH国外への移住者を中心とするBH国外在住者によるBH国内口座向けの個人送金は年々増加の傾向にあり、19年の送金額は前年(18年)比で9.6%の増加。